

## 【会議録】

会 議 名	第3回 港区生活・就労支援センター事業運営業務委託事業候補者 選考委員会
開 催 日 時	令和5年12月28（木）午前9時30分から午前11時30分まで
開 催 場 所	港区役所9階 913会議室
委 員 員	（委員長）立教大学 コミュニティ福祉学部 コミュニティ政策学科 教授 木下 武徳 （副委員長）保健福祉支援部長 山本 睦美 （委員）上智大学 総合人間科学部 社会福祉学科 准教授 鏑木 奈津子 （委員）品川公共職業安定所 職業相談部長 田代 浩之 （委員）保健福祉支援部 生活福祉調整課長 大原 裕美子
事 務 局	生活福祉調整課自立支援担当 平田担当、田口担当 生活福祉調整課生活福祉調整係 櫻庭担当
会 議 次 第	1 開会 2 委託事業候補者によるプレゼンテーション・質疑応答 3 議題審議 議題1 第2次審査（プレゼンテーション及び質疑応答）について 議題2 業務委託事業候補者の決定について 4 その他 5 閉会
配 付 資 料	別紙 1 第二次審査選考基準採点表 別紙 2 タイムスケジュール 別紙 3 席次表 （事業者提供）プレゼンテーション資料 参考資料1 障害者雇用状況報告書 参考資料2 第一次審査採点表
会議の結果及び主要な発言	

# 【会議録】

<p>A委員</p>	<p>1 開会</p> <p>2 委託事業候補者によるプレゼンテーション・質疑応答 (A事業者によるプレゼンテーション) (質疑応答)</p> <p>2点質問をします。1点目は、今後こういった機関と連携を増やしていくのでしょうか。2点目は、複合的で難しい課題を有している支援者を対応する支援員に対し、主任相談支援員としてマネジメント等で工夫していることや、今後工夫したいと考えていることはあるか主任相談員にお聞きしたいです。</p>
<p>A事業者</p>	<p>1点目の質問に対しては、子ども家庭支援センター、高齢者相談センターとの連携を模索していきたいです。特に子ども分野は、児童相談所、子ども家庭支援センターがあり、生活困窮者制度を基とし、それらの組織をつなぎとめ、連携を模索できるかが非常に課題であると考えているためです。</p> <p>2点目の主任相談員としての考えについては、東京都や国の研修を受ける中で、役割と機能を勉強し、日々の支援管理、パワーアップを図るような取り組みが非常に大切であると考えています。実務においては、相談員ができるだけストレスを溜めないよう、褒めるときは他職員の前で褒めるようにしています。また、日々なるべく細かく接して行くよう考えています。</p>
<p>B委員</p>	<p>企画提案書様式10について、組織として求人情報収集や協力雇用主の開拓を具体的にどの様に行っているのでしょうか。</p>
<p>A事業者</p>	<p>当法人は、就労支援を周辺の自治体でも行っており、繋がりのある企業が多くあります。各事業所が協力事業主に了解を得て情報共有し、その情報から開拓やマッチング進めています。</p>
<p>B委員</p>	<p>協力事業主について、無料職業紹介所、有料職業紹介所とあるが、港区はどのぐらい登録件数があるのでしょうか。</p>
<p>A事業者</p>	<p>企業数は約50社で、求人案件は約100件です。</p>
<p>B委員</p>	<p>生活保護受給者を会社が雇い入れた場合の、特定求職者雇用開発助成金を利用した実績はありますか。</p>
<p>A事業者</p>	<p>法人全体でも利用した実績はないです。</p>
<p>B委員</p>	<p>障害者の法定雇用率について、現在は雇用率を満たしていますが、来年の4月からの雇用率(2.5%)に引き上がると、基準を満たさなくなります。来年度に向けて、障害者の雇用をどの様に考えているのでしょうか。</p>

## 【会議録】

A事業者	当法人も法人内事業所において障害者等の方々を積極的に雇用しており、現在本部の人事部で来年度以降の法定雇用率を超えられるような施策を検討・実施しています。
B委員	A事業者が雇用している障害者は、具体的にどのような仕事をしていますか。
A事業者 C委員	現場や当法人が運営している福祉施設で雇用しています。一番課題と思っていること、一番力を入れているところは何か教えてください。
A事業者	一番の課題は、各機関との連携であると考えています。港区は地域包括ケアの推進、福祉総合相談窓口等のワンストップ化を目指す施策の中で、当法人の役割及び各機関の役割に対して高い課題意識を持っていると感じています。当法人と各機関へのつなぎに注力をしていきたいと考えています。 一番力を入れることは、保健所等の組織と個別の検討事例の積み上げです。各組織に積極的に足を運び、お互いの役割を担う取組みを進めたいと考えています。
D委員	早期発見や新しい相談者を増やすことについて、具体的にどのようなことを行って増やそうとしているのでしょうか。
A事業者	コロナ禍前は各関係機関へのチラシ配布及び金銭的な悩みをもった相談者が来庁した際は、当法人へ案内するよう周知依頼を行いました。その結果、コロナ禍での住居確保給付金業務では、数千人の区民が当法人を利用された実績があります。引き続きチラシや資料による周知と、個別事例を検討していくことで、よりお互いの制度を知り、新規の相談者、埋没しがちな困窮者を発見する仕組みを区全体で構築していきたいと考えています。
D委員	町会や自治会の集まりで、センターの事業を周知することは考えていますか。
A事業者	ひきこもりの相談事業では、民生委員、商店街に積極的に働きかけを行ってきたので、地域との連携を深めていきたいと考えています。
E委員	ホームレス支援について例えば、支援対象のホームレスの方が支援を拒否している場合に、どの様に対応しますか。
A事業者	当人の意思を尊重することが福祉の大原則であるため、無理やり何かをするという立場ではないと考えています。施設管理者、警察、区役所の部署と連携して当人へ様々な道を提案し、当人に選択してもらうような対応を考えています。

## 【会議録】

E委員	様式9に社会資源の開発と書かれているが、説明の記載がありません。どの様な意味合いで社会資源の開発と記載されたのでしょうか。
A事業者	センターだけでなく、企業を主体にして、センターと地域を巻き込んで雇用に繋がれたら良いと考え、社会資源の開発と記載しました。
E委員	国は地域共生社会、重層支援体制等を重視していますが、その中で本事業をどの様に位置付けるのか考えはありますか。
A事業者	各関係窓口の紹介だけではなく、関係機関が集まり、個別の事例を積み上げていくことが、新たな困窮者の発見に繋がるため、その中心的役割を果たしていきたいと考えています。
E委員	令和6年度の予定業務量を年間500名、1月あたり42名、今年度比で新規相談者を1月あたり8名増やすと記載されていますが、その根拠は何でしょうか。
A事業者	仕様書の予定業務量が年間500人で、12か月で割った数字が42名です。今までの平均と比較し、区内の困窮者はもっといると考え、月8名ぐらい新規を増やすとしました。
E委員	それは、港区の各種計画、実態調査等を参照しての数字なのでしょうか。どの辺にアプローチして重点化していこうという考えはありますか。
A事業者	収納関係の部署と連携していきたいと考えています。コロナ禍を経て、公租公課を滞納し始める人たちがいるため、それらの支払いに困っている人たちが大きな対象者であると考えています。 (A事業者への質疑応答終了。) (A事業者退出)
委員長	3 議題審議 議題1 第2次審査(プレゼンテーション及び質疑応答)について各委員から講評をお願いします。
C委員	A事業者は港区の組織に理解があり、関係機関との連携を重視する点に非常に信頼感をもてました。また区の特異性がある事例を詳しく説明できていたと思います。
B委員	みなとジョブスポットと多少技術的な課題はありますが、うまく連携できており、的確に事業ができる事業者であると思います。
A委員	事業者のこれまでの実績を踏まえ、相談支援・支援機関との連携については評価に値すると思われれます。しかし、地域との連携については、説明の分かりづらさ、庁外との連携について言及がなく残念でした。また、質問に主任相談支援員自身が答えなかったことには

## 【会議録】

D委員	違和感を覚え、人材育成及びマネジメントについても、具体的な実施内容への言及ありませんでした。
E委員	特に問題ないと感じましたが、気になった点は、業務に関する実現性、新規相談者の掘り起こし及び主任相談員の資質についてです。庁内連携だけで新しい相談者を増やすのは弱いと感じます。主任相談員の資質については、工夫している点や今後の取組み等のテーマ毎の話が無く、マネジメントの点においても業務とそれ以外とのメリハリをどの様につけるのか発言がありませんでした。
委員長	実際の事業に対する理解が高く、A事業者以上に事業を理解している事業者はいないと思います。社会資源の開発は、提案書に記載されたものを中心に実現していくものと考えます。相談支援に対する意欲については、意欲が足りないという印象を受けました。主任相談員の資質については、現場での業務やどの様に生活困窮者を支えるのかについての発言が少なかったと思います。
委員一同	議題2 業務委託事業候補者の決定について
委員長	今回は1事業者のみの応募でありましたが、1次審査及び2次審査において、応募事業者は基準点の60%以上の点数を獲得しており、適格性があると判断されるため、運営事業者として決定することによいでしょうか。
事務局	(一同賛成。異議なし。) 決定した運営事業候補者について、事務局から発表をお願いします。
	中高年事業団やまて企業組合港支店です。
	4 その他 (事務局から事務連絡)
	5 閉会 (委員長より閉会の挨拶)
	以上